

# 表象文化論学会

## 第9回研究発表集会

2014  
11月8日(土) / 9日(日)  
(関連企画)

11月8日 [土] 新潟大学五十嵐キャンパス 総合教育研究棟 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

事前予約不要  
当日会費 1,000円 (会員は無料)

10:00	ワークショップ 人工知能とジェンダー	(司会) 門林岳史 (関西大学)	F274教室
11:20	大橋完太郎 (神戸女学院大学) 小澤京子 (首都大学東京) 北村紗衣 (武蔵大学) 西條玲奈 (京都大学) 清水晶子 (東京大学)		
12:00	研究発表 1 狭間の気象映像——コンピュータシステムの日常化以降の映像及びメディアと身体の関係 松谷容作 (神戸大学) (司会) 長谷正人 (早稲田大学) F271教室 ネットを通じた若者たちの自己表現についての一考察——VineとYouTubeの事例をもとに 難波純也 (東京大学) 『平成』改元と〈顔〉の記憶をめぐる記号論的考察——ロラン・バルト『表徴の帝国』を手がかりに 鈴木洋仁 (東京大学) 『ギニービッグ』から考察する80年代レンタルビデオ市場と『個人撮影動画』 鈴木潤 (新潟大学)		
12:00	研究発表 2 声と文字——ゲオルゲ・クライスの符牒 弘田龍 (一橋大学) (司会) 佐藤良明 F275教室 バーシヴァル・ローエルとフランク・ノリス——世紀転換期米国における科学、ロマンス、およびフロンティアの複合的表象の検討 入江哲朗 (東京大学) W・G・ゼーバルト『アウステルリッツ』『土星の環』における視覚イメージ 鈴木賢子 (東京芸術大学) フィリップ・メランヒトンの「夢解釈」論 下山大助 (京都大学)		
14:30	研究発表 3 イメージの生成からアンフォルムな痕跡へ——パタイユのラスコー解釈の可能性 唄邦弘 (司会) 門林岳史 (関西大学) F274教室 合生的形象:ピカソ他(ラ・ガルーブの海水浴場)(1955)における物体化された思考プロセスの分析 平倉圭 (横浜国立大学) ステファン・フォン・ヒューネの知覚論——点と面、物質化を介在した知覚の拡散と集約 坂本泰宏 (Max Planck Institute for Empirical Aesthetics) 贈与論による限界芸術の再考 大絵晃世 (東京芸術大学)		
*研究発表4は 14:00まで	研究発表 4 総合芸術とアジテーションのはざまに——ロシア十月革命後の記念碑論争 江村公 (同志社大学) (司会) 田中純 (東京大学) F272教室 フレデリック・キースラー『ブケバロス』——洞窟的展示空間 瀬上華 (東京大学) ベルギーの「象徴」としてのルネ・マグリット——第二次世界大戦後におけるマグリットの展覧会とベルギー教育庁の芸術政策の連関について 利根川由奈 (日本学術振興会)		
14:45	企画パネル1 アラン・セクーラ、写真とテキスト、イメージと地政学のあいだ I (司会) 番場俊 (新潟大学) F271教室 写真を逆なですること——セクーラの写真実践/写真論 前川修 (神戸大学) 産業資本主義の画像言語——写真アーカイヴとセクーラ 佐藤守弘 (京都精華大学 / PARASOPHIAプロフェッショナルアドバイザーボードメンバー) イメージのマテリアリティとサーキュレーション——セクーラを起点として 北野圭介 (立命館大学 / PARASOPHIAプロフェッショナルアドバイザーボードメンバー)	共催: PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015	
16:45	企画パネル2 石岡良治『視覚文化「超」講義』を読む——マンガ研究との接合面 (司会) 星野太 (東京大学) F275教室 石岡良治 (跡見学園女子大学) 中田健太郎 (日本大学) 三輪健太郎 (学習院大学)		
17:00	シンポジウム ゴジラ再考 (司会) 中村秀之 (立教大学) F274教室 研究発表 5 敗北した男たちの邂逅——黒木和雄『原子力戦争』における佐藤慶と岡田英次 片岡佑介 (一橋大学) ゾンビにおけるセクシャリティ——ポストヒューマニズムとの関連から 福田安佐子 (京都大学) 小津安二郎映画における〈演出〉の美学——1930年代中盤の作品を中心に 滝浪佑紀 (東京大学)		
18:30	シンポジウム ゴジラ再考 ミツヨ・ワダ・マルシアーン (カナダ、カールトン大学) 林田新 (京都市立芸術大学) 猪俣賢司 (新潟大学) 石田美紀 (新潟大学)		

11月9日 [日] (関連企画)

すべて無料

10:00	トーク・セッション アラン・セクーラ、写真とテキスト、イメージと地政学のあいだ II (司会) 北野圭介 (講演者) 河本信治 (PARASOPHIAアーティストディレクター) (コメンテーター) 前川修 佐藤守弘	会場: 砂丘館 [旧日本銀行新潟支店長役宅] (新潟市中央区西大畑町 5218-1) 共催: PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015
12:00	市山流 踊りと芸妓のエキシビション (解説) 市山流家元七代目 市山七十世	会場: 新潟日報メディアシップ20階ギャラリースペース (新潟市中央区万代 3-1-1) 共催: 新潟大学地域映像アーカイブ
15:00	トーク・イベント 海外で日本の「アニメ」はどう見られているのか? (出演) アレックス・ザルテン (ハーバード大学) キム・ジュニアン (新潟大学)	会場: 新潟市マンガの家 (新潟市中央区古町通6番町 971-7 新古町版画通り GEO古町通6番町) 共催: 新潟市マンガの家

\*プログラムは予告なく変更される場合があります。詳細および最新情報は学会ホームページ (<http://www.repre.org>) をご覧ください。

問い合わせ先: 表象文化論学会事務局 〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科 表象文化論研究室内 FAX 03-5454-4336 E-mail [repre@repre.org](mailto:repre@repre.org) URL <http://www.repre.org>